

服用に際しては、この説明文書を必ずお読みください
また、必要時に読めるよう大切に保管しておいてください

第2類医薬品

麻杏甘石湯

麻杏甘石湯エキス顆粒「トーア」

麻杏甘石湯(マキョウカンセキトウ)は、漢方の古典「傷寒論」に記載されているせき、ぜんそくの代表処方です。

本処方麻黄(マオウ)、杏仁(キョウニン)、甘草(カンゾウ)、石膏(セッコウ)からなり、麻黄はせきを鎮め、杏仁は痰をとり、石膏は熱をさします。麻黄、杏仁、石膏が協力して、熱を冷まし、血行を盛んにしてのどのとおりをよくしてせきをしずめます。

⚠ 使用上の注意

相談すること



1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
- (8) 次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

| 関係部位 | 症 状 |
|-------|----------------|
| 皮 膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| 消 化 器 | 吐き気、食欲不振、胃部不快感 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること

| 症状の名称 | 症 状 |
|---------------------|---|
| 偽アルドステロン症、 ミオパチー | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。 |

3. 1ヵ月位(感冒に服用する場合には5~6日間)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

【効能・効果】

体力中等度以上で、せきが出て、ときにのどが渇くものの次の諸症：
せき、小児ぜんそく、気管支ぜんそく、気管支炎、感冒、痔の痛み

【用法・用量】

下記の量を食前または食間にそのまま水かお湯で服用する。またはお湯を加えてかき混ぜて溶かし、熱いうちに服用する。

| 年 齢 | 1 回 量 | 1 日服用回数 |
|-----------|---------|---------|
| 成人(15才以上) | 1 包 | 3 回 |
| 7才以上15才未満 | 2/3 包 | |
| 4才以上7才未満 | 1/2 包 | |
| 4才未満 | 服用しないこと | |

食間とは食事と食事の間で、前の食事から2～3時間後

<用法・用量に関連する注意>

1. 4才以上の幼小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
2. 用法・用量を厳守すること。
3. 溶かして服用した後、溶け残りがある場合にはお湯を加えて溶かし、残らず服用すること。

【成分・分量】

1日量3包(1包2.0g)中

| | | | |
|------------|------|---------|-------|
| 麻杏甘石湯エキス | 2.4g | | |
| マ オ ウ | 4.0g | カ ン ゾ ウ | 2.0g |
| キ ョ ウ ニ ン | 4.0g | セ ッ コ ウ | 10.0g |
| より製した乾燥エキス | | | |

添加物：乳糖，白糖，シヨ糖脂肪酸エステルを含有

【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
2. 小児の手の届かないところに保管すること。
3. 他の容器に入れ替えないこと。
(誤用の原因になったり品質が変わる.)
4. 1包を分割して服用した残りは、袋の口を2回折り返して保管し、2日以内に服用すること。



【麻杏甘石湯エキス顆粒「トーア」はこんなときに】



せきが強く出て、口がかわき、自然に汗が出て熱感を伴うようなとき



せき、気管支ぜんそくでたんが切れにくいとき



小児ぜんそく、気管支ぜんそくにも用いられます。

製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記までお願いします。
北日本製薬株式会社 〒930-0314 富山県中新川郡上市町若杉55
電話番号：076-472-1011 受付時間：9:00～16:30(土、日、祝日を除く)

製造販売元 **北日本製薬株式会社**
富山県中新川郡上市町若杉55